

あなたの力で、町を元気に！

～ まずは「動こう」！まちづくりは「あなたが主役」～

この度の任期満了に伴う高森町長選挙におきまして、二期目の重責を担わせていただくこととなりました。この場をお借りし、これまで4年間私を支え導いてくださいました町民の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、次の4年間もこれまで同様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

高森町は平成の後半まで人口が増えてきましたが、徐々に人口減少とそれに伴う少子高齢化が進んでいます。しかし、地域全体の人口減少率と比較すれば、高森町はそれを食い止めている側で、令和3年4月の年少人口は13.9%、県内2位と優秀です。しかし、生活様式の変化や個人の考えを尊重する社会の風潮は、人が助け合い生きていくための地域への「責任」や「負担」への意識が希薄化してきていることは否めず、その結果、自治会加入率の低下や消防団員の定員割れ、伝統芸能の担い手不足など共助を大切にしてきた社会に大きな変革をもたらしています。さらにこの地域は、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開通を控え、首都圏との時間距離の短縮に大きな期待が膨らむ一方、高速交通網を地域に活かす取組みや、それに伴う新たな開発、土地利用、景観の維持やなど様々な課題を抱えています。また、2年以上にわたる新型コロナウイルス感染症の流行は、地域の皆さまが集まり会話する機会や行事、楽しみなども奪い、まちづくりを後退させているのではないかと危惧しています。

「まちづくり」とはこうした社会の変革にも対応し、地域に暮らす皆さまがふるさとを愛し、人とのつながりや仲間を尊重し、地域の担い手として行動してこそ成り立つものと考えています。私は、町長としてお世話になってから4年間、コロナ禍でも皆さまと対話と交流を大切にし、まちづくりの担い手育成や地域人材育成プログラムに力を入れてきました。徐々にこうした取組みに協力してくださる皆さまも増え、その輪が広がっていると手応えを感じています。そして、まちづくりの主役は、やはり町民の皆さまであると実感しています。リニア新時代を見据え、高森町を支え、元気なまちづくりを進めるためには、皆さま一人ひとりの「力」と「行動」が必要です。

こうした背景から、私は町政二期目にあたり、町の将来像「なりたいあなたに会えるまち～日本一のしあわせタウン高森～」を目指し、引続き「地域に根差した人材育成」をマニフェスト（公約）の柱に据えました。そして、マニフェスト（公約）実現に向け、町民の皆さまと同じ目線（「生活者（町民）起点」）で、皆さまの「幸せ」や「高森町や伊那谷の将来」のため、声を聴き、現場を視て、皆さまと一緒に力一杯行動したいと決意を新たにしています。

改めて、これまで同様の変わらぬご支援をお願い申し上げ、ごあいさついたします。

令和4年1月

高森町長 壬生 照玄